

「一人1台クロームブックを活用する授業のよさ」はこれだ！ 令和3年度3年生室長会作成

1.自分に合った勉強法が可能に！

①A問題 問題の説明し Google フォーム
②B問題 問題の説明し Google フォーム
③C問題 問題の説明し Google フォーム
④D問題 問題の説明し Google フォーム

⑤数学 ～授業の流れ～
先生の説明→問題演習→振り返り
それぞれのレベルに合った問題を選べる
→勉強効率の向上！

2.スライド作成&発表

①国語の1年
②国語の2年
③国語の3年
④国語の4年
⑤国語の5年

⑥社会 ～授業の流れ～
1.教科書・パソコンを使いスライド作成
→まとめて基礎的な知識を身につける
2.クラスみんなに発表！
→口に出すことで知識を定着させる
3.先生の説明で最終確認！
インプットとアウトプットを繰り返し
より効率的な学習を！

3.今まで出来なかった実験も可能に！

⑦理科 ～天体・星座の観察～
今までは出来なかった星座の観察もパソコンを使って可能に！
→より発展的な授業に
クロームブックの導入で
いろいろなことが可能に！

⑧まとめ
先生の話聞いてノートをとるだけ
↓ クロームブック導入
自分たちで考え、学び合う授業へ！
効率的な学習に！

以前の授業と比べて、どう感じているか聞いてみました 令和3年度全校対象アンケートより

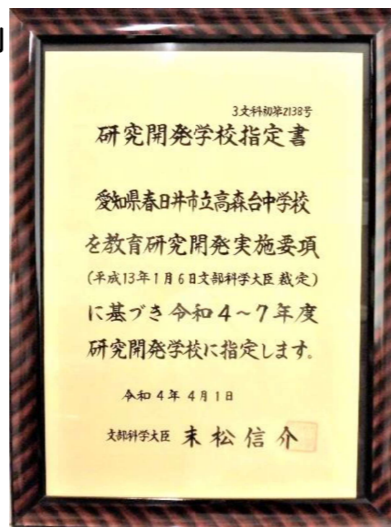


「国から研究開発学校に指定されました！」

研究開発学校ってなに？

文部科学省が設けている制度で、学校における教育実践の中から提起されてくる教育上の課題や急激な社会の変化・発展に伴って生じた学校教育に対する多様な要請に対応するため、研究開発を行おうとする学校を指定し、現行の教育課程の基準によらない教育課程の編成・実施を認め、その実践研究を通して新しい教育課程・指導方法を開発していこうとするものです。

本校は、出川小学校とともに「生涯にわたって自ら学びを進めていくことができる児童生徒の育成を目指した、これからの時代の学習の基盤となる資質・能力の育成に向けた教育課程及び指導方法に関する研究開発」を今後4年間取り組んでいきます。なお、現在指定を受けている公立小中学校は、全国でわずか18校のみです。



高森台中学校の実践を動画で紹介しています。下のQRコードからご覧ください。

Google 高森台中
実践紹介動画



JAET セミナー
実践紹介動画



春日井市立高森台中学校

GIGA スクール環境 一人1台端末を活用した “自ら学ぶ” 生徒を育成する授業づくり

高森台中学校では、めざす生徒像を「自分のよさを認識し、他者を尊重し、協働しながら、自ら学び続けることができる生徒」として、日々の教育活動に取り組んでいます。

令和2年度からは、国の GIGA スクール構想の推進に伴い、端末(タブレットパソコン)が一人に1台貸与され、学びの質を高める道具として活用できるよう、授業の工夫・改善を重ねてきました。

「生涯にわたって学び続けることができる生徒の育成」をめざした授業づくりの取組について、これまでの実践の様子を紹介します。

Chromebook(クロームブック) 端末はクロームブックというタブレット PC を使っています。春日井市が整備しました。クロームブックは、持ち運びやカバンの中に入れることを前提に考えられており、とても丈夫です。これまでのように PC 内にデータなどを保存するのではなく、クラウド上の様々なサービスを利用したり、クラウド上でデータを管理したりします。

○ クラスルーム

各教科の授業や委員会活動など、目的に応じたクラスを作成し、教材や資料を共有したり、課題の受け取りや提出をしたりします。また、クラスルーム内のメンバーに連絡事項を伝えたり、チャットをしたりと、1か所でいろいろなことを行うことができ、学習支援の起点となるツールです。



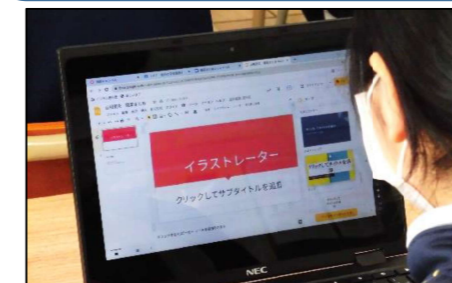
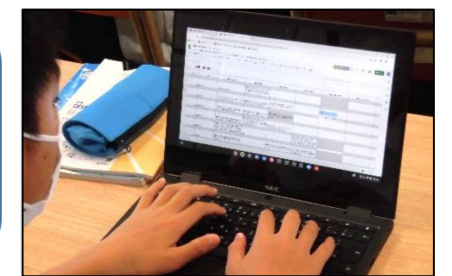
○ ジャムボード

インターネット上のホワイトボードです。図や付箋の貼り付けが可能で、思いついたことを記入して貼り付け、後で整理するときなどに使います。同時に複数人で編集することができるので、グループ内で意見を共有したり、いっしょに意見を整理したりするときに使います。



○ スプレッドシート

データの整理やグラフの作成に有効なツールです。同時に複数人で編集することができるので、情報を共有する場面で有効に活用できます。クラス全員の意見を共有するときなどにも使います。



○ スライド

プレゼンテーションを作成するツールです。発表用のスライドを作成するときなどに使います。同時に複数人で編集することができるので、グループ内で作業を分担したり、共同編集したりするときに使います。

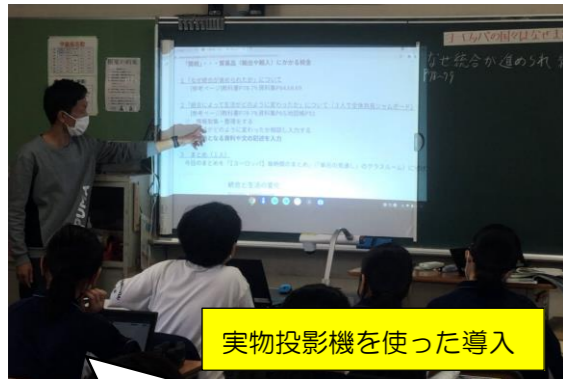


集中させる

しっかり教える

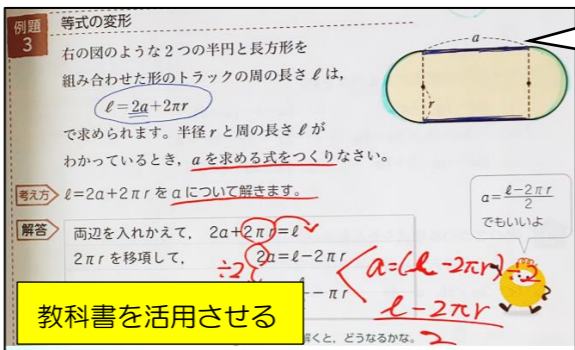
つなげて考えさせる

“自ら学ぶ”生徒



実物投影机を使った導入

本時の目標や学習過程を全体で確認します。単元を通して考える課題も伝えます。



教科書を活用させる



手元を拡大して見せる

器具操作（理科）や演奏方法（音楽）などを見せて、学びやすくします。

教科書の見方や使い方を教えて、自分で学習を進められるようにします。



個への学習支援

教師の端末で生徒の状況を把握し、適切な学習支援を行うことができます。



モデルを映して提示

モデルとなる班や生徒の画面を映してよさを価値づけ参考にさせます。

協働的な学び
個別最適な学び

目標達成のために計画を立てました。計画について振り返ってみてどうでしたか？うまくいった点やうまくいかなかった点、これからどうするといいかを教えてください。

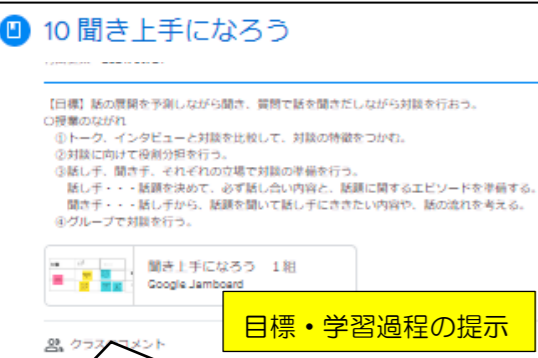
計画を立ててなるべく立てた計画通りに進んでいるけれど試合をやることに課題が見つかっていて練習を変えたりして計画通りに練習することができなかったです。でもチームの課題を見つけてそれに対しての練習をすることで連携が良くなったたり（スリム）などがどんどんできるようになっていたので良かったと思います。

スライドで単元のまとめ



スライドで発表

スライドにまとめた自分の考えなど伝える、アウトプットの場面です。



目標・学習過程の提示

各教科のクラスルームに授業の内容をのせています。いつでも見ることができます。

一斉での学び
個別の学び

「学び方」についての意図的な指導

自分に合った問題を、自分で選んで学習を進めることができます。



習熟度別問題



ジャムボード 情報収集

課題に関する情報を集め、みんなでジャムボードに書いていきます。



動画視聴による学習

ミシンの使い方（家庭科）や彩色の仕方（美術）など、動画をくり返し見ながら制作できます。



ジャムボード 構造化

お互いに動画を撮り合い、自分の体の使い方を客観的に見ることができます。



動画撮影による課題発見

集めた情報を整理・分析し、自分の考えをまとめていきます。

学習の記録	4章 図形の調べ方	目標と振り返り	自己評価
学級内	目的 自分の学習目標「図形の調べ方」を達成するために、自分なりに調べ方を考える。	振り返り 目標が達成できたか、達成できなかった理由を振り返る。	自己評価 自分の学習振り返り、達成できなかった理由を振り返る。
15/11/20	目的1: フォームの練習をすべて終わらせる。 目的2: 図形15, 16の内容を覚える。	振り返り 目標が達成できたか、達成できなかった理由を振り返る。	A- 他人に説明できる。説明がわかりやすかった。
15/11/21	目的1: 図形15, 16の内容を覚える。 目的2: 図形15, 16の内容を覚える。	振り返り 目標が達成できたか、達成できなかった理由を振り返る。	B- 他人に説明できる。説明がわかりやすかった。
15/11/22	目的1: 図形15, 16の内容を覚える。 目的2: 図形15, 16の内容を覚える。	振り返り 目標が達成できたか、達成できなかった理由を振り返る。	B- 他人に説明できる。説明がわかりやすかった。
15/11/23	目的1: 図形15, 16の内容を覚える。 目的2: 図形15, 16の内容を覚える。	振り返り 目標が達成できたか、達成できなかった理由を振り返る。	A- 180°（平角）
15/11/24	目的1: 図形15, 16の内容を覚える。 目的2: 図形15, 16の内容を覚える。	振り返り 目標が達成できたか、達成できなかった理由を振り返る。	A- 180°（平角）
15/11/25	目的1: 図形15, 16の内容を覚える。 目的2: 図形15, 16の内容を覚える。	振り返り 目標が達成できたか、達成できなかった理由を振り返る。	A- 180°（平角）

スプレッドシートで振り返り

1時間ごとの授業の振り返りを入力し、自分の学習の状況を確認しています。



AIドリルによる学習

5教科の基本的な内容を自分で学習できます。

課題の設定 → 情報の収集 → 情報の整理・分析 → まとめ・表現